回 復 期 病 棟 の 実 績

1. 令和8年4月1日～令和8年6月30日までの期間に回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数

59名

2. 回復期リハビリテーションを要する状態の区分

状 態 の 区 分	退棟患者数
脳血管疾患、脊髄疾患、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	50　名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	5　名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	2名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	2名

3. 令和8年1月1日～令和8年6月30日までの実績指数

61.8

実績指数＝　退棟時のFIM運動項目の得点－入棟時のFIM運動項目の得点＋※1 / 各患者の入棟から退棟までの日数÷患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数

※1「歩行・車椅子」及び「トイレ動作」が入棟中に5点以下から6点以上に上がった場合、それぞれに1点加点

令和8年7月

伊丹恒生脳神経外科病院